



## いよいよ今年度も 残りわずか

平成29年度は、清武みどり幼稚園にとって大変革の年で、平成29年4月からは認定こども園になりました。

0歳児から年長児まで、198人の子どもたちが通園しています。初めての集団生活に、なかなか適応できず「ママがいい～」と後追いする子どもさんもいましたが、初めは大泣きしていても、2週間もしないうちに笑顔が見られるようになってきました。子どもたちの生活環境への順応性の高さには驚かされます。

その子どもたちの心を支えるものは、やはり家庭で愛されていること、大事にされているという安心感です。その安心感があるからこそ、幼稚園での活動が成り立っているのだと思います。子どもたちの成長に関わることができる保育者という仕事の素晴らしさにも、またまた感動させられます。

5月には、運動会がありました。今年、初めての屋内競技場での開催でした。雨でも開催できることを利点と考え思い切って園の外で行いました。慣れない場所での発表に戸惑う子どもたちもみられましたが、会場が素晴らしく思い切って活動できたようです。

6月は、宮崎学園短大の2年生が3週間の教育実習にきました。子どもたちは、いっぱい遊んでもらいました。

7月は、年長児のお泊り保育がありました。幼稚園に泊まって、友だちと一緒に夜を過ごす経験は、子どもを大きく成長させました。

8月は、夕涼み会がありました。手作りの品物を売ったり買ったりしてお店屋さんごっこをしました。

9月からの2学期には、幼稚園の外での活動が多くありました。お芋ほり、みかん狩り、園外保育などに出かけました。そのたびに、「こんにちわ」や「ありがとうございます」の挨拶ができる子どもたちが増えていきました。

そして、1月の発表会は、インフルエンザの流行する中でしたが、全員出席で発表会ができました。みんなとても上手で、思わず涙が出てしまいました。

2月、3月は、なかなかインフルエンザの終息が見られないまま保育活動が続いていきましたが、様々な行事に合わせた保育や、国際大学生の教育実習、お別れ遠足と無事に保育活動を終了することができました。

残すところは、いよいよ卒園の日と修了の日です。

1年間は本当に長いですが、振り返ってみればとても短くて早く感じられます。こどもたちは、様々な体験を通して、日々成長しているのだなあと感じます。これもひとえに、子どもたちを保護者の皆さまが支えてくださったおかげです。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

また、各種行事にはおやじの会の皆さまをはじめ、お忙しい中に多くの保護者の皆様にご協力をいただきました。重ねてお礼申し上げます。次年度も、どうぞよろしく願いいたします。

卒園するゆり組、もも組の皆さん、自信をもって小学校に進学してください。皆さんのキラキラ輝いている姿は、いつまでも忘れることはできません。小学校に行っても、元気で活躍してくださいね。そして、ときには、幼稚園に遊びに来て、小学校での様子をいっぱい聞かせてください。楽しみにしています。

幼稚園便り「みどり」も、これで本年度は終了いたします。保護者の皆さまのご協力に感謝申し上げます。

平成30年度も、子どもたちの健やかな成長を願って、一緒に取り組ませていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

